

一生、勉強は続きます したいと思った時が絶好の機会です

ちえりあ学習ボランティア 佐々木あゆみさん



広げよう生涯学習

ちえりあと市民の橋渡し役として、生涯学習を地域に広げようと活動している人々もいます。それが、「ちえりあ学習ボランティア（略称・ちえボラ）」の皆さんです。現在のメンバーは約四十人。教育や健康、環境といった六つのテーマに分かれ、市民カレッジの一部の講座について企画から運営まで担当しています。その一人、佐々木あゆみさんは、「市民自身の手で講座を企画・運営し、その反省を生かしながら、後につなげていきたいですね」と目標を掲げています。

難病による障がいがある佐々木さん。もともと、市の生涯学習懇話会の委員として活動していました。障がいがある人も生涯学習のチャンスを得られる社会を実現するため、学生時代に社会教育について学んだ経験を生かしたいと思い立ったそうです。その後、ちえボラが設立されると、佐々木さん自身もその仲間に加わることとなりました。

「昨年は水環境をテーマに講座を企画しました。西岡水源池での野外学習も取り入れ、自然環境と水の大切さを学ぶことができ、とても充実した講座だったと思います。でも、環境というテーマは、幅が広くなかなか関心を集めにくいようです。市民の皆さんのニーズをとらえるのは難しいですね」と佐々木さん。やりがいを感じながら活動していることがうかがえます。

自然環境以外にも、佐々木さんは多くのことに関心を持っていきます。「好奇心があり過ぎて困ります」と自認するほどです。次回は、街並みやごみ問題などについて取り上げられないかと思っています。また、「都心にある緑の保全や高層マンションが景観に与える影響などにも注目しています」と言うように、実社会の問題にも熱いまなざしを向けています。



ちえボラの企画・運営による講座。受講者は熱心に講師の話に耳を傾けていた

企画を考え、講師を探し、講座を運営する過程も勉強になると佐々木さんは考えています。また、ボランティア仲間との交流も大いに刺激になっているようです。「皆さん勉強熱心で、とても学ぶところがたくさんありますね。皆さんと家族の支えがあつてこそ、ちえボラを続けていられると思います」。その言葉から、仲間に対する信頼と感謝の思いが感じられます。

◆ お二人が興味を持っていることや活動方法はそれぞれですが、共通して伝わってくるのは、学ぶ楽しさと学習を通じた出会いの喜び。皆さんも自分の可能性を切り開く第一歩を踏み出してみませんか。

さっぽろ市民カレッジ受講生を募集しています

生涯学習センターでは、ちえりあで開催している市民カレッジの受講生を募集しています。

まちづくりや地域活動に役立つ市民活動系、仕事のレベルアップに生かせる産業・ビジネス系、趣味や教養を高める文化・教養系の3つを柱に、さまざまな講座を提供しています。

詳しくは、ちえりあや区役所1階広聴係（南3西11）で配布している市民カレッジのパンフレットをご覧ください。また、本誌全市版19ページでも募集中の講座をご紹介します。

■詳細／生涯学習センター事業課 ☎671-2311



■地下鉄／東西線宮の沢駅から地下通路直結徒歩5分程度
■駐車場／ちえりあ駐車場（西友駐車場と共用）